

4 令和元年度学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析

分野	No.	質問項目	分析等																		
学習指導	1	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は肯定評価85%を超え(生徒H30:84.0%→R1:85.7%), 保護者の評価も向上し(保護者H30:77.8%→R1:83.3%) 全体的に評価が上がった。授業公開週間の研究授業をはじめ、普段からICT活用, 言語活動充実を図った授業内容, 先生方の授業の工夫が, 効果的な指導と生徒の授業理解度向上に繋がったものではないかと考える。 授業改革(研究・挑戦)から学校改革を図ろうとスタートした今年度は, 例年以上に生徒の授業評価に対する関心が高く, 更に先生方が「生徒の能力を引き出し伸ばす」ための授業を展開している結果であると考え。今後も, 生徒の実態を把握し, 外部より講師を招聘するなど, 更に生徒の理解が深まる授業力向上に努める取り組みを進めていきたい。 																		
生徒指導	2	挨拶やマナーなどの基本的習慣の確立に関する指導が行われている	<p>基本的生活習慣の確立については高い評価の割には出来ていない生徒がいた。今年度は約月1回の割合で制服・頭髪検査を実施したおかげで酷く乱れた生徒はいなかった。しかしながら女子の制服の着崩し(スカート丈、リボン)が目につくところである。学年、生徒部を中心に部活動で顧問の先生からの指導もしてもらいながら改善をしていきたい。</p>																		
進路指導	3	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的評価がH30→R1: 生徒89%→90%(同様)、保護者78%→83%(やや上昇)。進路適性検査や進路ガイダンスなどの各種行事や進路情報の提供、担任との面談などが、ある程度機能していると思われる。 今年度から採用したスタディーサポートⅠ(4月)→スタディーサポートⅡ(10月)→実力診断テスト(1月)という流れとその分析会実施については進路目標の明確化に役立ったのではないかと 10月実施の進路希望調査で、進路目標未定と答えた生徒の割合は1, 2年生全体でH30→R1: 8%→15%と増加している。進学か就職かという大まかな方向性も決まっていなかったものや進学、就職は決まっているが具体的には決められないでいるものに目を向け、その指導に満足感を持たせることが重要である。 																		
教育相談	4	生徒にとって教員やカウンセラーが必要ときに相談に応じてくれる体制は出来ている	<table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1</td> </tr> <tr> <td>No. 4 教育相談(生徒)</td> <td style="text-align: center;">83.1%</td> <td style="text-align: center;">⇒ 85.3%</td> </tr> <tr> <td> " (保護者)</td> <td style="text-align: center;">76.2%</td> <td style="text-align: center;">⇒ 77.2%</td> </tr> <tr> <td> " (教職員)</td> <td style="text-align: center;">97%</td> <td style="text-align: center;">⇒ 100%</td> </tr> <tr> <td>No. 2-8 " (教職員)</td> <td style="text-align: center;">94%</td> <td style="text-align: center;">⇒ 92%</td> </tr> <tr> <td> 2-9 " (教職員)</td> <td style="text-align: center;">91%</td> <td style="text-align: center;">⇒ 94%</td> </tr> </table> <p>* 昨年度と比べ上昇している評価が多い。引き続き次年度も教育相談体制を充実したものにしていきたい。</p>		H30	R1	No. 4 教育相談(生徒)	83.1%	⇒ 85.3%	" (保護者)	76.2%	⇒ 77.2%	" (教職員)	97%	⇒ 100%	No. 2-8 " (教職員)	94%	⇒ 92%	2-9 " (教職員)	91%	⇒ 94%
	H30	R1																			
No. 4 教育相談(生徒)	83.1%	⇒ 85.3%																			
" (保護者)	76.2%	⇒ 77.2%																			
" (教職員)	97%	⇒ 100%																			
No. 2-8 " (教職員)	94%	⇒ 92%																			
2-9 " (教職員)	91%	⇒ 94%																			
部活動	5	学校として部活動は活発に行われている	<p>昨年に続き、部活動については高い評価を得ているが、Aの「その通り」より、Bの「どちらかと言えばその通り」の方が高い数値になっている。BよりAの方が多くなるような指導をしていきたい。</p>																		
生徒会活動	6	学校として生徒会活動は活発に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> AまたはBと答えた生徒は79.9%と昨年の77.6%を上回った。保護者の回答でも79.4%と昨年度の79.9%とほぼ同数であった。 生徒会執行部については、生徒総会や対面式等の行事に、限られた時間の中で一生懸命取り組んだ。また、生徒会新聞を発行するなど積極的に頑張った。 人員不足から生徒会担当者が部活動との掛け持ちで担当せざるを得ない状況の中、大変良く頑張ったと言えるが、機会があれば研修会に参加したり、更なる向上に向けて努力していきたい。 																		

特色ある学校作り	8	学校として地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	・肯定評価は生徒・保護者ともに微増であるが70%台となり高評価を得たと言える(生徒H30:70.9%→R1:73.8%, 保護者H30:70.7%→R1:72.0%)。運動部活動の活躍のみならず、開かれた学校づくりとして、地域のボランティア活動や、小中学校との連携事業を実施してきたことが今回の結果に繋がったと考える。また、柴高通信を定期的に県内中学校へ郵送、保護者向けへも配布することや、HPの継続定期的な更新も効果的であった。今後も、本校の取り組みをより理解していただくため、地域紙等に積極的に活動内容を示せるようにするとともに、更にHP更新や地域に根ざした学校づくりを図るための活動を学校全体で行っていききたい。
防災	9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	昨年度よりも僅かながら肯定的な意見が多くなった。(生徒87.6%→88.1% 保護者70.7%→72.5%)しかしながら毎年の避難訓練を見ていると取り組み方に課題が残る。防災の研修会でも多くの学校が頭を悩ませているのが現状である。来年度に向け消防などとも意見を交わし違った角度から避難訓練等を実施して行きたいと思う。
開かれた学校	10	保護者に対して学校HPや各種通信などで、学校の情報は適切に伝えられている	生徒(H30:80.6%→R1:85.3%), 保護者(H30:64.7%→R1:70.4%)と双方とも評価が高まった。行事ごとにHPを更新、柴高通信を定期的に作成掲示及び配布したことは学校情報発信に効果があったと考える。部活動毎の更新がされていないため、新年度の課題としてしっかりと取り組んでいきたい。
施設設備	11	学校の施設・設備は整備されている	
いじめ対策	12	【生徒】学校として日頃からのいじめの早期発見に取り組んでいる 【保護者】学校としていじめの問題に対する取り組み方針が保護者と共有されている	・いじめ問題の対策については、他の質問項目に比べ、保護者の評価は毎年低い傾向にあるが、今年度は63.8%と昨年度の56.7%を若干上回った。(H30年度60.8% H29年度61.7%) ・生徒の評価は今年度80.3%と保護者の評価と比べると大きな開きがある。このことから考えると、学校生活アンケートが毎月行われていることやいじめ防止についての学校の取り組みを分からない保護者が多いと考えられる。 ・ホームページに掲載されている「いじめ防止基本方針」の中にも毎月アンケートが実施されていることが書かれており、3月の予備登校や生徒指導部だよりでいじめアンケートの毎月実施を保護者へ伝えている。生徒と保護者の評価が一致するように、質問項目を変えるなどして来年度は調査したい。
総合満足度	13	学校生活は充実している	・生徒・保護者ともに学校生活に対する満足度は非常に高い結果を得られた(生徒H30:81.6%→R1:84.4%, 保護者H30:89.6%→R1:89.2%)。多くの者は学校生活に満足感を持っており、マイナス評価が減少した。部活動や学校行事のみならず、生徒が授業に臨む姿勢の指導を含め、授業に対する理解・満足度が増したことが要因と考える。 ・授業評価の結果からは、「授業を楽しみにしている」者もあり、授業評価数値の向上がそのことを示している。各教科における授業実践力向上のための研究と修養及び授業公開週間実施の取り組みを更に充実させ、総合満足度向上に繋げたい。
保健厚生環境	14	【生徒のみ】日常の清掃活動をはじめとして環境の整備は適切に行われている	No. 14清掃活動等(生徒) 81.6% ⇒ 85.5% " (教職員) 91% ⇒ 83% * 第1回反省会で述べたとおり、階段・廊下・トイレ等で汚れが目立つ状況が散見された。昨年度以上に美化委員による点検等を実施したのであるが、日常の清掃を徹底すべく次年度に向け対策を練っていききたい。
	15	健康診断や保健講話・保健だよりにより生徒の健康管理は適切に行われている	No. 15 健康診断・保健講話・保健便り(生徒) 92.1% ⇒ 93.9% " (保護者) 91.9% ⇒ 92.1% " (教職員) 100% ⇒ 100% * この項目に関しては、生徒・保護者・教職員から高い評価を得ている。次年度も同様の評価が得られるよう継続していききたい。
		(保護者のみ) PTA会員相互の連携が	前年度よりも僅かではあるが肯定的な意見が多くなった(今年度78.

総務	14	PIA会員相互の連携が図られており各種行事・研修がスムーズに運営されている	6%、昨年度77.4%)。しかしながら4月のPTA総会や地区PTAなど参加者は多くない。PTA研修旅行は2年連続で実施していない状況である。違った形で行事を実施し参加人数と数字を合わせていきたい。
教務 図書	16	学習、読書及び情報収集の場として図書室は適切に運営されている	肯定的な回答が 生徒H30 88.2%→R1 85.3%, 保護者H30 76.0%→R1 78.0% 今年度は授業での利用時数が若干減少しているので、学習環境等を整え授業での図書館利活用を促したい。
進路 指導	17	模試や課外講習などで進路達成に向けた実力養成は適切に行なわれている。	模試の受験生が極端に低いが、3年生に対する就職者向け講習や面接指導、AO・推薦入試対策の丁寧な個別指導により、合格率も高くなっている。肯定的評価(生徒87%、保護者80%)が多いと考えられる。
教務 図書	18	芸術鑑賞会など情操を養うための行事が適切に行われている	肯定的な回答が 生徒H30 88.2%→R1 89.8%, 保護者H30 85.9%→R1 80.4% 生徒・保護者とも概ね高評価。内容を吟味し行事として継続したい。

